

## 歴史(明治時代③・生活の変化編)

近代化をめざす政策によって、欧米の生活様式が取り入れられていった。

町には①\_\_\_\_\_造りの洋風建築が建て並び、道路には人力車や馬車が走り、ランプやガス灯がつけられた。このような、生活や社会の大きな変化を②\_\_\_\_\_という。また、暦も③\_\_\_\_\_暦から④\_\_\_\_\_暦に改められ、1日を⑤\_\_\_\_\_時間、1週間を⑥\_\_\_\_\_日とすることになった。

②\_\_\_\_\_の中で、欧米の近代思想も次々に紹介されていった。なかでも、人間の平等と民主主義をわかりやすい表現で説いた⑦\_\_\_\_\_の『学問のすゝめ』は多くの人々に影響をあたえた。また、⑧\_\_\_\_\_はルソーが著した『⑨\_\_\_\_\_』を翻訳して、民主主義思想を広めていき、これらの思想が、やがて⑩\_\_\_\_\_運動につながっていく。また、信仰の自由が認められたが、1868年に出された⑪\_\_\_\_\_令をきっかけに、仏教を排除する運動がおこった。